

<第63回調査>

2014年08月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2014年08月12日(火)13:00~2014年08月19日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は801件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

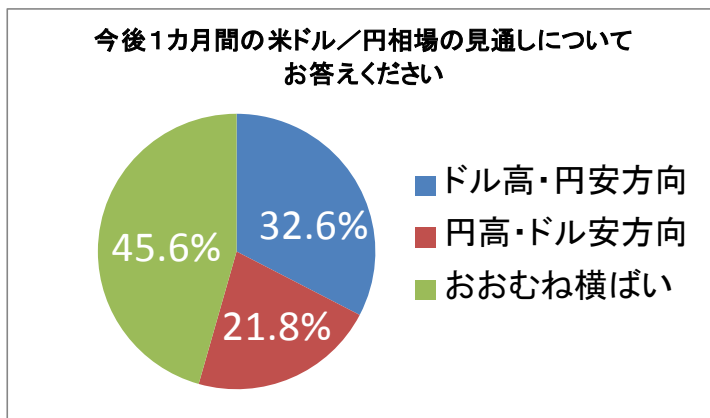
Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第63回調査結果略報：ユーロ/円弱気見通しが拡大】

問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

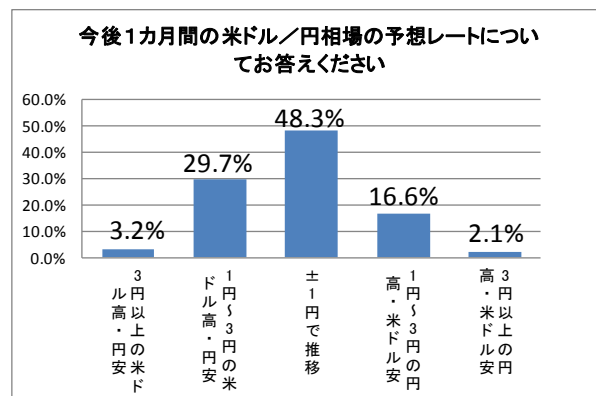
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が32.6%であったのに対し、「円高・ドル安方向」と答えた割合は21.8%となった。この結果「米ドル/円予想DI」は+10.8%ポイントとなり、前回の+3.5%ポイントからプラス幅が小幅に拡大し、14カ月連続でプラス圏を維持した。調査期間中の米ドル/円相場は、小幅に上昇したとはいえ102円台での推移に留まった。個人投資家の相場見通しも、こうした相場展開に沿ったようで、予想DIは前回から小幅に上昇したとはいえ、10%台という低水準に留まった。「おおむね横ばい」を予想した向きが引き続き最も多い点を見ても、個人投資家の見通しに大きな変化があったとは考えにくい。

※過去の米ドル/円予想DIの推移はP8-9に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「±1円で推移」と答えた割合が48.3%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安」が29.7%と続いた。「1円～3円の円高・ドル安」は16.6%、「3円以上の米ドル高・円安」は3.2%、「3円以上の円高・米ドル安」は2.1%となった。ヒストグラムの形状は、「±1円で推移」を中心としたピラミッド型であり、「おおむね横ばい」が最多を占めた問1の回答結果と整合的である。敢えて前回とのわずかな変化を指摘すれば、「1～3円の米ドル高・円安」の割合がやや増加した(前回：24.8%)点であり、この点も問1で示された予想DIの小幅な上昇と整合的と言えるだろう。

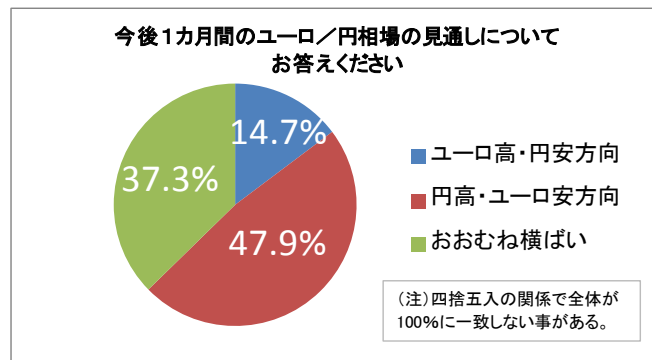


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

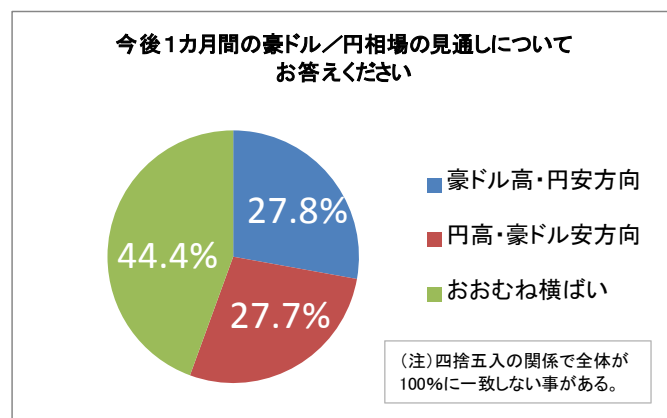
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が14.7%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が47.9%となった。この結果、「ユーロ円予想DI」は▲33.2%ポイントとなった。前月の▲28.0%ポイントからマイナス幅が拡大して5カ月連続の弱気予想となった。調査期間中のユーロ/円相場は、直前の8日に135.728円まで下落していた反動もあって136～137円台で底堅く推移したが、個人投資家の先安感を払拭する事はできなかったようだ。なお、個人投資家のユーロ先安感は、債務問題に揺さぶられてユーロ/円が11年ぶりの安値(94.10円)を付けた2012年7月当時と同水準に達していると見る事ができる。※過去のユーロ円予想DIの推移はP8-9に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が27.8%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は27.7%となった。この結果「豪ドル/円予想DI」は+0.1%ポイントと、ほぼ中立の予想となった。調査期間中の豪ドル/円相場は94.50円台から95.90円台へ上昇したが、こうした値動きは、個人投資家の相場見通しには影響しなかったようだ。なお、予想DIは、前回が▲5.6、前前回が+4.4となっており、個人投資家の豪ドル/円に対する見通しが強弱のどちらにも傾きにくい状態が続いている。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP8-9に掲載。

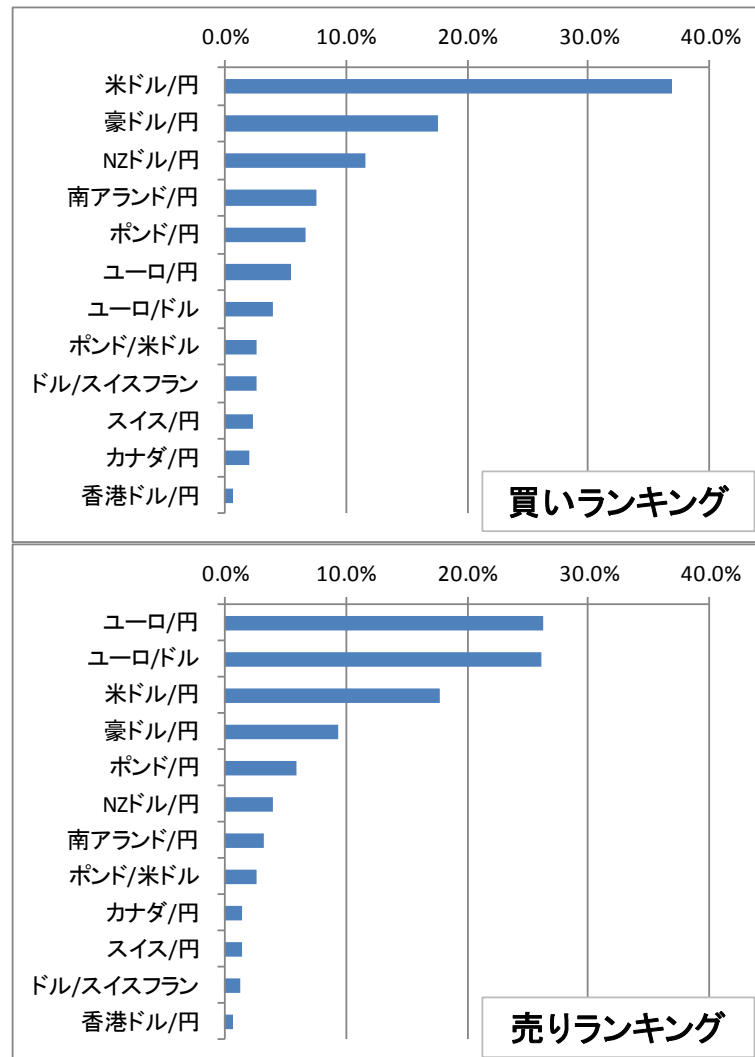


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目されている通貨ペアは、1位米ドル/円(37.0%)、2位豪ドル/円(17.6%)、3位NZドル/円(11.6%)、4位南アランド/円(7.6%)、となった。一方、「売り」で注目されている通貨ペアは、1位ユーロ/円(26.2%)、2位がユーロ/ドル(26.1%)、3位米ドル/円(17.7%)、4位豪ドル/円(9.4%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が22カ月連続で1位をキープ。4位までの順位も前回と同様であった。為替市場全体に大きな変動が見られない中では、本邦個人投資家が注目する通貨ペアにも目立った変化が表れにくいという事だろう。こうした中、「売り」で注目の通貨ペアについても、前回から順位に変動はなかったが、引き続きユーロに対する売り意欲が強い点を強調しておきたい。ユーロ/円とユーロ/ドルは、「売り」で注目のランキングでは1位と2位だが、「買い」で注目のランキングでは6位(5.5%)、7位(4.0%)に沈んでいる。

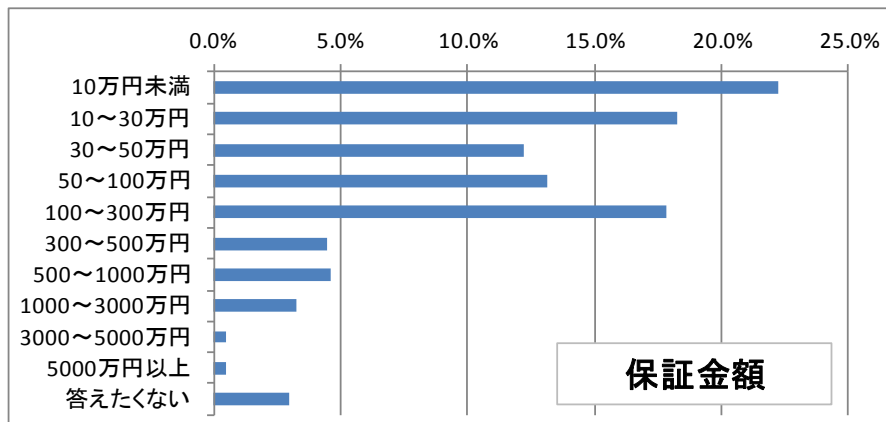


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

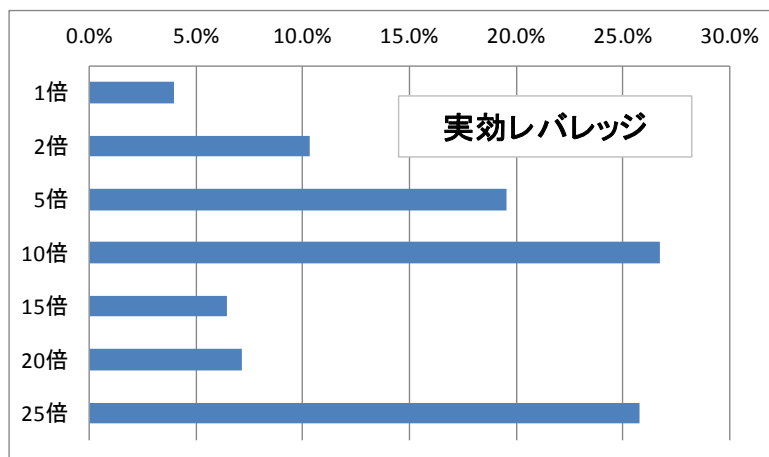
問6: FX取引の際の取引保証金の額についてお答えください(ひとつだけ)

「FX取引の際の保証金の額」について尋ねたところ、「10万円未満」と答えた割合が22.2%と最も多く、以下「10～30万円(18.2%)」、「100～300万円(17.9%)」、「50～100万円(13.1%)」、「30～50万円(12.2%)」と続いた。「100～300万円」とした割合が前回の13.3%から増加したのがやや目立つが、「300万円以上」とした合算割合は前回の14.7%から13.3%へ小幅に減少しており、全体としては大きく変化したとの印象は薄い。



問7: 現在の[実効レバレッジ]で最も近いものを選択ください(ひとつだけ)

「現在の[実効レバレッジ]」について尋ねたところ、「10倍」と答えた割合が26.7%と最も多く、「25倍」が25.8%、「5倍」が19.6%と続き、以下、「2倍」が10.3%、「20倍」が7.2%となった。ここ数カ月は、順位にも回答割合にも大きな変動がなく、「10倍」と「25倍」で半数以上を占める傾向にも変化はない。なお、今回の調査に回答を寄せた個人投資家の平均実効レバレッジについても、12.7倍と前回の12.9倍とほぼ同じであった。

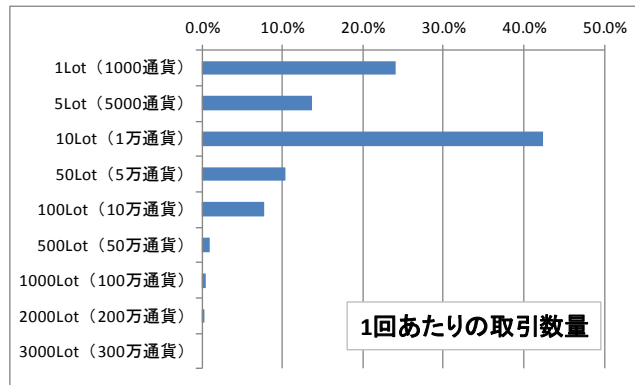


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

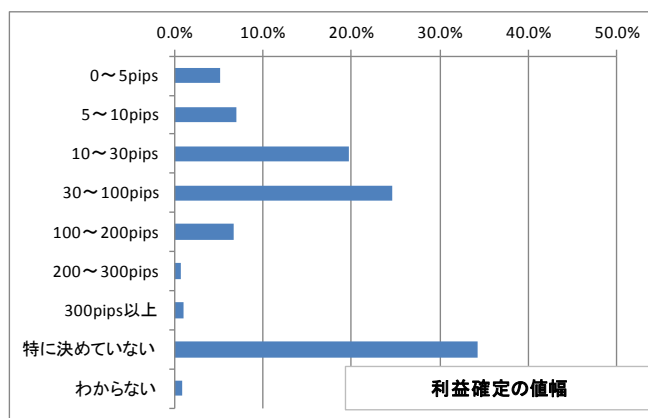
問8: 一度に注文する注文数量で最も近いものを選択ください。(ひとつだけ)

「一度に注文する注文数量で最も近いものを選択ください。(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「10Lot (1万通貨)」と答えた割合が42.4%と最も多く、以下「1Lot(1000通貨)」が24.1%、「5Lot(5000通貨)」が13.6%、「50Lot(5万通貨)」が10.4%、「100Lot(10万通貨)」が7.7%と続いた。順位は前回と同様であり、回答割合にもほぼ変化がなかった。保証金、レバレッジに続いて注文数量にも目立った変化がないという事になる。本邦個人投資家の取引スタイルがほぼ固定化されたと見るべきなのか、相場の膠着が、取引スタイルも膠着化させたのかについては現段階では判然としない。今後の動向に注目しておきたい。



問9: ポジションを持ってから、利益確定をするまでの値幅をお答えください(クロス円の場合 1pips=1銭)

今月の特別質問項目として「ポジションを持ってから、利益確定をするまでの値幅をお答えください(クロス円の場合 1pips=1銭)」と尋ねたところ、「特に決めていない」が34.3%を占めて最多となった。以下、「30~100pips」が24.6%、「10~30pips」が19.7%、「5~10pips」が7.0%と続いた。100pips以下と答えた合算の割合が56.4%に上り、100pips超とした割合は8.3%に留まった。米ドル/円と言えば、1円未満の利益で反対売買に動くと答えた投資家が半数以上という事になる。米ドル/円のレンジ相場が続いている影響が大きいと見られるが、それにしても個人投資家が想定する「利食い」の値幅は狭いという印象が拭えない。

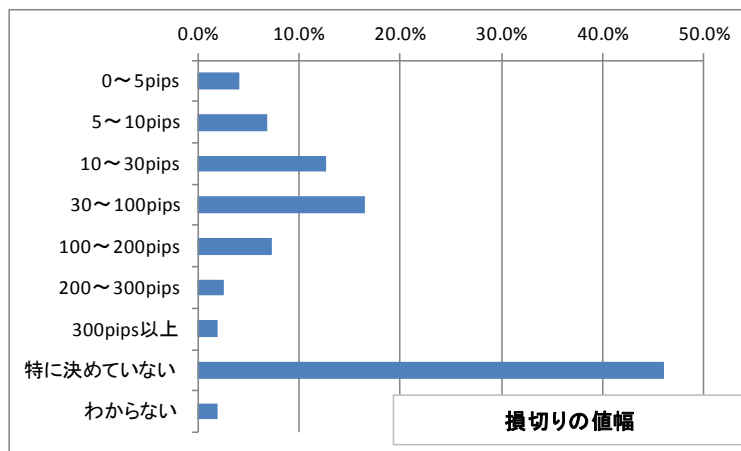


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問10: ポジションを持ってから、損切りをするまでの値幅をお答えください(クロス円の場合 1pips=1銭)

今月のもうひとつの特別質問項目は、問9と関連して「ポジションを持ってから、損切りをするまでの値幅をお答えください(クロス円の場合 1pips=1銭)」と尋ねた。その結果、「特に決めていない」が46.1%と最も多く、「30～100pips」が16.5%、「10～30pips」が12.6%、「100～200pips」が7.4%と続いた。「特に決めていない」とした割合は問9よりも多く、独自の損切りルールを決めていない投資家が半数近くに上る事がわかった。その一方で、100pips以下と答えた合算割合が40.1%に上っており、利益確定までの想定値幅と同様に損切りまでの想定値幅も比較的狭いという印象が強い。

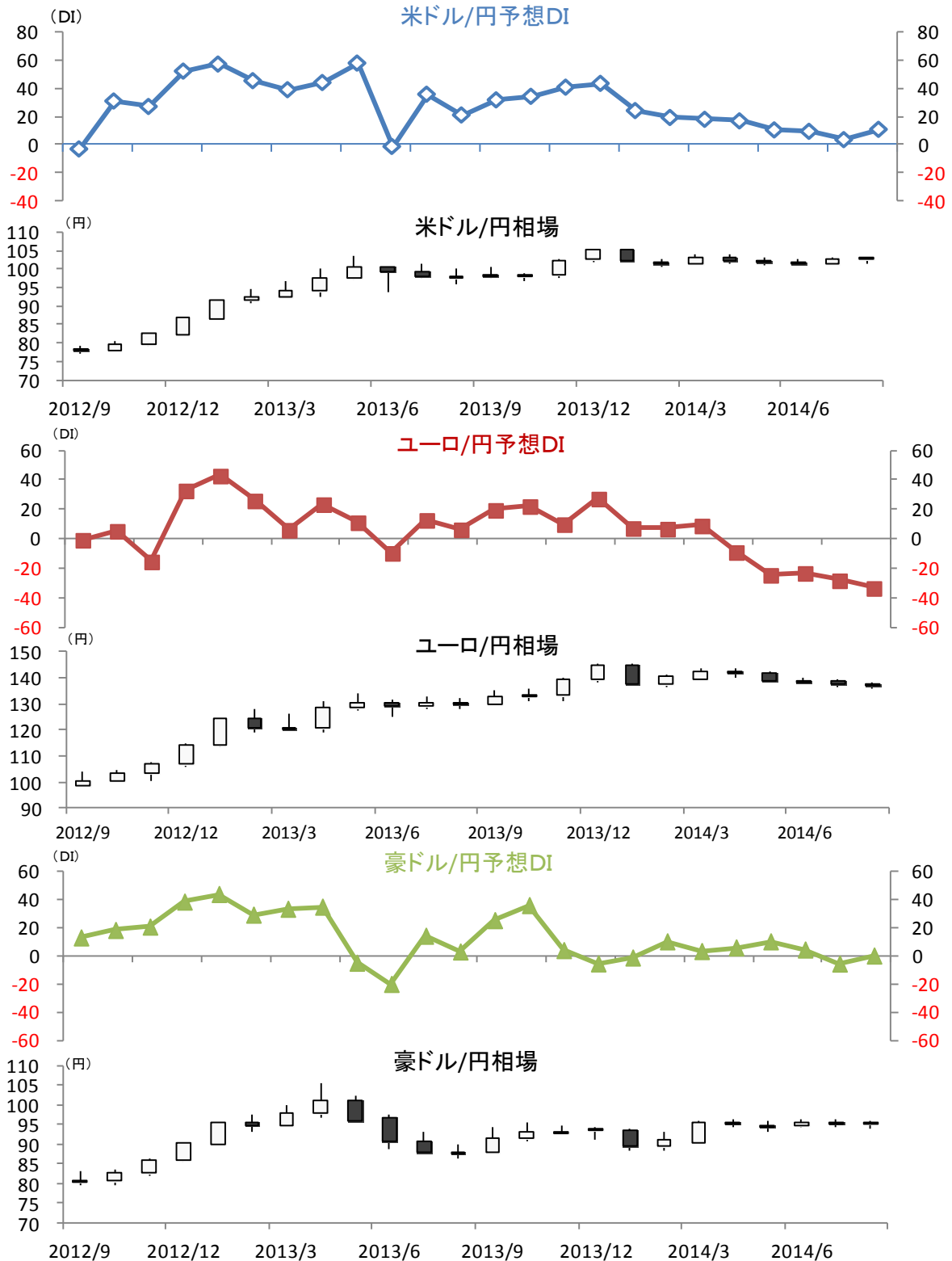


また、問9と本問の結果を重ねた結果、①利益確定と損切りの想定値幅が同一とした向きは33.7%であり、②利益確定よりも損切りの想定値幅の方が大きかった向きは48.4%、③損切りよりも利益確定の想定値幅の方が大きかった向きは30.8%であった。①は機械的に損切りを実行していると推測されるほか、②は俗に言う「利小損大」、③は反対の「損小利大」という傾向が浮かび上がる。教科書的には③が最も望ましい取引スタイルとされるが、残念ながら今回の調査結果では最も割合が少なかった事になる。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと月足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第63回目となりました。調査開始から5年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2012年	9月	27.9	31.0	-3.1	38.7	39.2	-0.5	40.2	27.2	13.0
	10月	44.9	14.0	30.9	39.1	33.5	5.6	42.4	24.1	18.3
	11月	48.5	21.5	27.0	27.9	43.1	-15.2	44.0	23.3	20.7
	12月	69.2	17.1	52.1	56.2	23.2	33.0	56.2	17.7	38.5
2013年	1月	70.7	13.6	57.1	61.4	18.3	43.1	60.3	16.4	43.9
	2月	60.0	14.7	45.3	50.1	23.9	26.2	48.6	19.4	29.2
	3月	55.5	16.6	38.9	37.2	30.9	6.3	53.0	19.6	33.4
	4月	61.4	17.4	44.0	49.5	25.8	23.7	56.1	21.2	34.9
	5月	70.5	12.7	57.8	37.3	25.9	11.4	27.7	32.7	-5.0
	6月	37.5	38.8	-1.3	31.4	40.8	-9.4	28.2	48.3	-20.1
	7月	52.3	16.6	35.7	37.3	24.3	13.0	38.4	24.2	14.2
	8月	43.7	22.7	21.0	34.1	27.5	6.6	34.8	31.8	3.0
	9月	49.8	18.1	31.7	40.8	21.0	19.8	46.5	21.2	25.3
	10月	54.8	20.6	34.2	40.8	18.4	22.4	53.1	17.1	36.0
	11月	53.2	12.5	40.7	34.8	24.7	10.1	31.8	27.8	4.0
	12月	59.5	16.1	43.4	48.2	20.7	27.5	27.3	32.8	-5.5
2014年	1月	47.2	23.1	24.1	37.2	29.7	7.5	28.1	29.4	-1.3
	2月	41.7	22.5	19.2	35.3	28.2	7.1	36.5	26.3	10.2
	3月	41.9	24.0	17.9	38.7	29.5	9.2	34.8	31.5	3.3
	4月	41.4	24.6	16.8	25.7	34.5	-8.8	35.4	29.5	5.9
	5月	33.9	23.5	10.4	19.7	44.0	-24.3	34.2	24.0	10.2
	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com